

令和7年度 江釣子中学校教職員 働き方改革アクションプラン

～QOL（クオリティオブライフ）を高めるためのゆとりある職場作り～

江釣子中では、「北上市教職員働き方改革プラン(R7~9年度版)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現状

[定量的現状]

◆ 「北上市教職員働き方改革プラン(R4~6年度版)」目標達成状況について
「時間外在校等時間が月80時間以上の者を前年度比5割減とする。」

・概ね達成された

「時間外在校等時間が月100時間以上の者をゼロにする。」

・概ね達成された

[定性的現状]

○ 教職員の意識

・当校で推進する部活動休養日の取組が全教職員に徹底されている。

・時間外勤務をしている教職員が固定している。

○ 管理職のマネジメント

・スクラップアンドビルドの視点を持って業務見直し、会議の効率的運営等対応を図っている

2 目標・目指す姿

<R7年度目標>

○ 北上市教職員働き方改革プラン(R7~9年度版)」に掲げるR7年度の目標を達成します。時間外在校等時間月45時間超の者を減少、月80時間以上0人。

○ 本校に勤務する先生方の仕事の質の向上を目指します。

<目指す姿>

・生徒への質の高い教育を持続的に提供し得る観点からまずは先生方の物理的、精神的な負担を軽減するような働き方の見直しが常に図られている。

・業務改善について、教員から積極的に提案がなされている。

・働き方改革に係る課題について、学校全体で共有し、その解決を図る場が定期的に設定されている。

・管理職が日頃から、教職員に対し声がけを行い、コミュニケーションを取る中で、一人一人の悩みや働き方に関する改善点を共有する。

・教職員が、教材研究の時間を十分に確保できている。

・教職員がいきいきとやりがいをもって、生徒に向き合うことができている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

○ 教職員の健康管理

- ・働き方改革プラン「チーム学校としての推進」の取組を確実に実施し、教職員の健康を確保します。
- ・管理職が、年次休暇取得について積極的に声掛けを行い、いつでも休める雰囲気をつくります。
- ・月の途中で月の時間外在校等時間が45時間超となった教職員に対して、当該時間を知らせるとともに、健康確保の観点から、積極的な声がけを行います。
- ・健康相談事業等、職員の状況に応じ、共済保健事業についての活用を促進します。
- ・安全衛生委員会等、定期的に、学校における働き方の取組状況を振り返る場を設定します。

○ 学校における業務改善の推進

- ・ゆとりの職場作りに向け、あらゆる会議の時間を削減します。時間外の会議は設定しないように努めます。
- ・ペーパーレス化を実施することにより、業務の効率化を進めます。
- ・職員の意識改革を目的に、月に1度ノー残業デーを実施します。
- ・学校行事について、安易にコロナ禍前に戻すことなく、教育において真に必要な観点から業務の見直しを進めます。
- ・会議の進め方について職員の協力・理解を得ながら合理化を図ります。
- ・通知表等の所見を見直し、より効果的且つ事務的負担を減らす工夫を行います。

○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・部活動の地域移行を積極的にすすめ、土日の部活動に教職員はできるだけ参加しないように保護者への理解を求めていきます。
- ・教職員参加の地区活動や地域行事等について、学校の実情を踏まえて精選等を行います。
- ・休日の部活動を行う場合でも、土日のどちらか1日は必ず休養日とします。
- ・学校閉庁を行い、業務のオンオフを明確化します。

令和7年4月1日 江釣子中学校長 長畑滋彦

(参考) 「北上市教職員働き方改革プラン(R7~9年度版)」(抜粋)

【策定趣旨】

○教職員が担うべき業務に取り組むことができる時間を確保するとともに、一人一人が誇りとやりがいをもって職務を遂行できる環境を整備することにより、学校教育の質の向上を図る。

【プランの目標】 市内小中学校の教員の時間外在校等時間の縮減

- (1) 時間外在校等時間が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。
- (2) 時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。